

「みんなで支える在宅療養シンポジウム」会場アンケート集計結果

開催日時:平成31年1月27日(日)13:00~16:00

場所:ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

参加者数:300名

アンケート回収数:178

Q1. 今日でシンポジウムのご参加は何回目ですか？(H23年度から開催。今回で8回目)			H29年度
1	今回初めて	117	65.7%
2	2回目	22	12.4%
3	3回目	17	9.6%
4	その他	20	11.2%
	無回答	2	1.1%

Q1-4. その他の回数

4回	1
5回	8
6回	2
8回	2
無回答	7

Q2. 今日のシンポジウムについて何で知りましたか？(複数回答可)			H29年度
1	広報よこすか	60	33.7%
2	市HP	9	5.1%
3	市ツイッター	0	0.0%
4	チラシ	36	20.2%
5	ポスター	11	6.2%
6	社協だより	21	11.8%
7	タウンニュース	34	19.1%
8	その他	37	20.8%
	無回答	1	0.6%

Q2-4. チラシの入手場所

民生委員、民児協	6
市役所、行政センター、コミュニティセンター	8
学校、まなび館	3
病院、診療所	4
老人福祉施設	2
その他(職場、家族、)	6
無回答	8

Q2-5. ポスターの掲示場所

広報掲示板	3
老人福祉施設	1
無回答	7

Q2-6. その他

在宅医療連携会議、職能団体連絡(歯科衛生士横須賀支部)	2
講師講演会ネット、講師関係	3
新聞(神奈川)、ミニコミ誌	3
民生委員、民児協、社協	4
家族・友人・知人	14
パネリスト誘い	1
特養施設	2
その他(市職員・勤務先から誘い、医師の誘い)	4
無回答	4

H30みんなで支える在宅療養シンポジウム アンケート結果

Q3. 今日のシンポジウムはいかがでしたか？（一つ回答）				H29年度
(1)基調講演「終の棲家で平穏死」				
1	よく理解出来た	160	89.9%	95.8%
2	難しかった	2	1.1%	1.2%
3	どちらともいえない	10	5.6%	1.2%
	無回答	6	3.4%	1.8%
(2)パネルディスカッション「平穏に旅立つための支援と準備」				
1	よく理解出来た	99	55.6%	64.8%
2	難しかった	3	1.7%	1.2%
3	どちらともいえない	7	3.9%	5.5%
	無回答	69	38.8%	28.5%
Q4. 今日のシンポジウムに参加してよかったですか？				H29年度
1	とてもよかった	134	75.3%	81.8%
2	まあよかった	29	16.3%	14.5%
3	あまりよくなかった	1	0.6%	0.0%
4	よくなかった	0	0.0%	0.0%
	無回答	14	7.9%	3.6%
Q5. 今後、在宅療養・在宅看取りについて話を聴いてみたい講師はいますか？				H29年度
1	いる	44	24.7%	21.2%
2	いない	36	20.2%	22.4%
	無回答	98	55.1%	56.4%

Q5-1. 話を聞いてみたい講師名（複数回答有）	
石飛 幸三	1
秋谷しおかぜ診療所の下川・西村	1
千場 純	8
遠藤氏	1
大井 玄	1
大野氏	1
小笠原望医師（四国で在宅医療している）	1
岡田氏	1
小澤 竹俊	1
音楽医療法士の方	1
川越 厚	2
秋山 正子	1
磯崎 哲男	1
小堀 鷗一郎	2
心理療法士 稲富氏（川崎幸クリニック勤務）	1
たくさんの仕事に携わった方々	1
敏田氏（認知症）	1
長尾和 宏	1
中村氏	1
野村氏	2
宮崎かあさんの家の市原氏	1
宮本顕二・礼子	1
柳田 邦男（作家）	1
山崎 章郎	2
横須賀市の医師現状について	1
無回答	10

H30みんなで支える在宅療養シンポジウム アンケート結果

Q6. 今日のシンポジウムに参加する前から「リビング・ウィル」という言葉を知っていましたか？			H29年度
1 意味も含めて知っていた	108	60.7%	51.5%
2 意味は知らないが聞いたことはあった	23	12.9%	21.2%
3 知らなかった	43	24.2%	25.5%
無回答	4	2.2%	1.8%

Q7. 病気などで人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか？（1つ回答）			H29年度 (複数回答あり)
1 最期まで自宅で過ごしたい	95	53.4%	58.2%
2 医療機関に入院したい	14	7.9%	9.1%
3 老人ホームなどの施設に入所したい	21	11.8%	6.7%
4 わからない	34	19.1%	20.0%
5 その他	12	6.7%	7.3%
無回答	2	1.1%	0.6%

Q7-5. その他

家族に迷惑をかけたくないので病院か施設

遺された家族に迷惑をかけたくないので自宅でも施設、医療機関でもよいと思っている。ただし、しっかりと自分の考えを伝えておく(記録しておく)

今は考えていない

家族の介護力があまりなく、今の段階ではわからない

その時期に自分や家族の状況に合わせて選択する予定

希望は家ですが看る人の人数状況で

迷ってます

ホスピス:娘が2人いますが少々遠方、1人は思い病気をかかえ私より生きられるか？

家族に負担をかけたくない

私を大切にしてくれる所

考え中

Q8. 「Q7」で1を選ばれた方、それは何故ですか？（複数回答可） 【割合の分母は回答者数95】			H29年度
1 住み慣れた自宅で過ごしたい	72	75.8%	69.4%
2 地域の中で暮らしたい	14	14.7%	15.3%
3 家族と過ごしたい	28	29.5%	27.6%
4 自分のペースで自由に過ごしたい	52	54.7%	51.0%
5 わからない	1	1.1%	0.0%
6 その他	3	3.2%	0.0%

Q8-9. その他

愛犬がいる

1

医療は受けたくない

1

時勢が“自宅で”となることを予想

1

H30みんなで支える在宅療養シンポジウム アンケート結果

Q9.「Q7」で2・3を選ばれた方、それはどのような理由ですか？(複数回答可) 【割合の分母は回答者数35】				H29年度
1	自宅で在宅医療・介護を受けられる居住環境が整っていない	15	42.9%	26.3%
2	病院や施設にいた方がきちんと医療や介護を受けられる	8	22.9%	28.9%
3	自宅では家族に負担がかかる	25	71.4%	55.3%
4	自宅で亡くなることに不安がある	6	17.1%	15.8%
5	訪問診療をしてくれる医師や看護師がいない	3	8.6%	10.5%
6	自宅で急に具合が悪くなったときに不安	7	20.0%	26.3%
7	在宅医療・介護について家族の理解が得られない	1	2.9%	2.6%
8	在宅医療・介護についての知識、理解が不十分	4	11.4%	7.9%
9	その他	4	11.4%	5.3%

Q9－9. その他	
専門的な治療がしてもらえる	1
家族がいない	1
家族に負担をかけたくない	1
子供に迷惑をかけたくないし、時間もないと思う	1

Q10. 全ての方に伺います。年齢を重ねても地域の中で暮らしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか？(1つ回答) ※複数の回答有り				H29年度
1	日頃からの近所づきあい	52	29.2%	26.1%
2	地域住民同士の見守り・助け合い活動(ごみ出し、草かり、買い物支援など)	41	23.0%	28.5%
3	地域で集まる場づくり・機会づくり	15	8.4%	13.9%
4	介護予防のための教室、講座等の充実	18	10.1%	6.7%
5	高齢者世帯への支援サービスの充実	51	28.7%	15.2%
6	在宅医療・介護の制度の充実	64	36.0%	30.9%
7	その他	7	3.9%	3.6%

Q10－7. その他	
自分自身のライフスタイルを常に見つめ続け、気分よく暮らしたいですね	1
個別に何を考え支援してもらいたいのか、聞いて支援できる方法	1
家族	1
本人・家族・周りの人たちの意識	1
家族や友人、周囲の人と人生の幕引きについて常に話をする	1
どれか一つと言えない	1
全年齢で加齢、死を学ぶ	1

H30みんなで支える在宅療養シンポジウム アンケート結果

Q11. あなたは次のどれに該当しますか？				H29年度
1	一般市民	110	61.8%	61.8%
2	医師・歯科医師	2	1.1%	2.4%
3	看護師	23	12.9%	7.9%
4	ケアマネジャー	6	3.4%	6.1%
5	ヘルパー	8	4.5%	2.4%
6	薬剤師	1	0.6%	2.4%
7	福祉施設職員	11	6.2%	3.0%
8	その他	15	8.4%	10.9%
	無回答	2	1.1%	3.0%

Q11-8. その他

民生委員	5
保健士	1
歯科衛生士	2
介護福祉士	1
医薬品卸会社	1
無回答	5

Q12. あなたの年齢を教えてください				H29年度
1	～20代	2	1%	0.6%
2	30代	1	0.6%	4.2%
3	40代	14	7.9%	14.5%
4	50代	35	19.7%	14.5%
5	60代	39	21.9%	30.9%
6	70代	67	37.6%	24.8%
7	80代以上	19	10.7%	7.3%
	無回答	1	0.6%	3.0%

Q13. あなたは現在、どのような家族構成ですか？				H29年度
1	単身世帯	36	20.2%	21.2%
2	夫婦のみ世帯	78	43.8%	37.6%
3	二世帯世帯(親子)	53	29.8%	29.7%
4	三世帯世帯(親子・祖父母または孫)	7	3.9%	6.1%
5	その他	2	1.1%	1.8%
	無回答	2	1.1%	3.6%

Q13-5. その他

孫と2人	1
無回答	1

Q14. あなたはどちらにお住まいですか？				H29年度
1	横須賀市内	147	82.6%	87.3%
2	横須賀市外	29	16.3%	10.3%
	無回答	2	1.1%	2.4%

Q14-2. 横須賀市外

逗子市	8
葉山町	4
横浜市	8
大和市	1
無回答	8

自由記入
石飛先生のお話も、パネルディスカッションもとても勉強になり、参考になりました。はじめての参加ですが、来てよかったです。とても有意義でした。ありがとうございました。
心の準備として参加しました。良い話を聞くことができ、気持ちの上で整理できた気がします。機会があれば参加したいです。
初めての参加です。75歳です。この先とても不安です。心配です。経済的余裕もなく毎日考えています。たどりつく答えはポジティブに今の状態をなるべく維持していく事、それには今何をしていけば良いか、一日一日を大事に生きています。
町内会・自治会の組織を活用した地域力を発揮できるよう行政の立場から協力を推進・指導を願います。
在宅療養がどんどん広まっていくことを願っています。
今日初めて施設の方々の事も分かり、自宅で看る最期の事も分かり考えが変わりました。頑張りたいと思います。現在2人元気です。主人82歳、私78歳です。
とても勉強になりました。先生の話が具体的で感動して涙が出ました。
母の介護を家で15年。復習のため、よく聞かせてもらいました。ヘルパー13年。母の介護15年(在宅)を勉強したので、その時を思い出して上手に夫婦でやります。
経験豊かな方々のお話とても身近に感じます。
人生をいかに生きるか…どう生き抜くかが課題ですね。平穏死は本当に理想的な最期です。日野原先生の会員でもあり「ありがとう」と言って旅立ちたいと思っています。
石飛先生のお考えに全面的賛成です。老いる、自分の責任を考え、自分で決定する。自分でお金も用意する。当たり前のことです。
石飛先生の御著書を拝読したことで関心を持ちました。80歳代末の夫が介護(2から4となり)を頂くため衣笠ホームに出入りするようになり、80歳はじめの私は夫及び自分の逝く末を真剣に考えるようになりました。まだ、元気のある今のうちに。今日はありがとうございました。
先生の本をよく読んでいます。
看取りをした家族のケアの大切さについて、もう少し聞けたらと思う家族の病院、在宅と看護としての看取りをして、なかなか解決できない。心に残りつかえてしまう。
スローな話、各種具体例、本当に分かりやすい内容、私も今近づいた別れを自覚した。心の準備を妻と一緒に考えていきたい。本当にありがとうございました。又、先生の話を知りたい、お元気でいつまでも。
すごい参考になりました。今の介護のあり方にすごく疑問を持っているので、ぜひ賛同したいです。
前から知っていました。横須賀に来られるとはおどろきました。とても良かったです。
体調悪く途中で帰ります。いつも、おもしろい興味ある話で良いです。
川名課長さんへ、在宅医療、在宅での死は高齢者医療費を増やさない工夫と思います。独居や高齢(老々介護)が身の回りには多いが(Q10-5)高齢者世帯への支援サービスが充実しているとは思えない。施設もいっぱい、独居でも高齢でも在宅で死を迎えられるサービスをして欲しい。在宅でのサービスも十分でない今現在、役所が家庭に押しつけていると思う。
理解に乏しい私でも、先生の話し方がゆっくりでしたので、とても分かりやすかった。
在宅医療をしてくれる所を近所に欲しい。家で亡くなった時はどうすれば良いか知りたい。
私自信の最期の看取りのあり方に関しての不透明な部分(疑問)がこの講義を伺いクリアになりました。感謝です。横須賀市が全国に先んじてこの在宅医療介護の充実を制度的にはかって欲しいと切に望みます。

自由記入
自宅での看取りについて具体例が聞けたのが分かりやすく良かったと思う。92歳1人暮らしをしている母は今元気ですが、これからどうなるのか不安ですが、少し対応の仕方が分かった気がしています。ありがとうございます。
石飛先生の講演、考えさせられる内容でした。各施設のDrや看護、介護、リハ、栄養科と同じ考えではないと、すすめられないように思いました。
今日はとても良い話が聞けて勉強になりました。
パネリストがいつも多いと思います。2人にして下さい。石飛先生の話をもっと深くお聞きしたいのです。
在宅療養で、死を迎えたいと思っておりませんが、家族の負担と在宅での排処理医療対応がどうなのかが気になります。今日は良い話を聞きましたが、不安です。
横須賀市、川名理恵子のお話を市独自で聞いてもらいたいです。
とてもためになりました
今回は自分の父の事でお話を聴きにきました。本当にこのご縁があって良かったです。とても参考になりました。
胃ろうの存在意義を、を改めて考えさせるいい機会になったと思います。口から食べられるようにするための胃ろうがもっと普及すると良いと思います。
父を自宅で見送りました。最後まで自宅ではとは思いますが、介護者がいない場合はどうするのか考えてしまいます。ひとりでそっと亡くなるのもいいのかとは思いますが、警察が入ることになるので、訪問診療は必要です。これから少しずつ考えていこうと思います。
市民病院時代にお世話になりました。特養で働くようになり、医療の現場より心のあり方を問われている気がします。ケアとキュア共に心(仁)の上に成り立ってほしいです。
内容は大変良かったが、話だけなら書物等で足りる。せっかくこれだけのメンバーなので、ディスカッションを開きたかった。話の内容だけならとてもよかったが、残念
このような(芦花ホーム)老人ホームでしたら、最期の時を託したいと思います。
聞きやすかった。
自然に生き死んでいきたい。それができるのではないかと考えました。ありがとうございました。
24時間対応の訪問看護ステーションは心強い。
横浜市の特養で働いていましたが、横須賀の特養に転職し、ケアの質の悪さに失望しました。生まれ育った街の高齢者ケアの質がもう少し良くなるいいと思っています。看取りケアには一般市民の方のコンセンサスを得ることが必要だと思います。もっと、もっとこのような場所があれば良いと思っています。横須賀市でももう少し施設の監査をしっかりとってほしい！！ひどすぎる！！
ぜひ、葉山でも石飛先生のお話を、町内の医師や町民に聞いて欲しいと思いました。
元気で居りますが今から先生とのつながりをつくっていた方が良いでしょう。72歳ですが薬の世話にもならず元気で居ります。痛い所もありません。
家族のいる方は極力家であらゆる介護サービスを作っても家で過ごせる体制をしてほしい。特養は身寄りのない人などでもう増設する必要はないです。特養に入居すると家族はダメになる。
“死ぬ”ということは哲学の実践という言葉が印象的でした。
医療の状態で分からないと思うので現在はわからない。病状の変化で自分で判断できるかどうか。

自由記入
病院(医院も含めて)と介護の使命と連携の見直しを重く受けとめました。とても良い講演でした。
まったく病院にかかっていなかった義母の介護、自宅での最期を希望していた義母の意志を尊重し、昨年10月野村Drの助けを受け、自宅で看取る事が出来ました。自分の子へも死について考えるチャンスを与えられ、親子で生死について、限りある生命について話し合う事が出来た。今回のご講演、パネラーの方々のお話を多くの方に学んでいただけて、在宅医療が発展されますように。ここでの学び、私も老人ホームで実践しています。関わりのヒントをいただきました。ありがとうございました。
親戚が病気ににかかった際、私は「とにかく生きてほしい」と思いましたが、本人の意志を考えられていなかったのはよくありませんでした。自分が死ぬと分かったときだけでなく、自分の身近な人が亡くなる時も、心を決められるように、冷静でいられる人になりたいです。また、看護師になりたい私にとって、とても良い話ばかりでした。ありがとうございました。
これからは在宅、施設での看取りはもっと増えると思います。何かあった時にきちんと形に残しておきたいと思っています。
仕事を通し、色々な方の生活状況をみており、自分に置きかえると選択に困ります。「わからない」と思っています。もっと色々見解を掘りたいと思います。今日はありがとうございました。
手話、要約筆記の紹介もして欲しかった。
貴重な講演ありがとうございました。今後の生活にも生かしたいと思います。
皆々様が1日も永くお元気でいらっしゃることを望みます。立場が違うとわからないことは多く、学びと気づきがいっつも必要ですね。
感動しました。またお願いします。
自分の人生の最終段階について考える良い機会になりました。貴重なお話をたくさん聴かせていただき、誠にありがとうございました。
石飛先生の本は読ませていただいておりますが、直接お話を伺うのは初めてで、この機会を楽しみにしていました。聞く事が出来て本当に良かったです。
石飛先生、汐見台病院ではお世話になりました。シャントはいまも大事に使っています。今、追浜の透析室にいます。先生が横須賀に来ると言うので会いに来ました。近くにいましたが、先生はおぼえていないと思い、声をかけませんでした。先生に会えた事は私にとって財産になりました。石飛先生ありがとうございました。
ずっと涙がとまりませんでした。入院して日に日に弱っていく母をみて、今後どうしたらいいのか、途方に迷っていました。母をすこやかに送り送りたいです。
Q7の回答で「最期まで自宅で過ごしたい」に○をしたいが核家族化が進んでいる(進めさせられた?)現状では①老夫婦②おひとりになった場合かなりハードルが高い。
石飛先生のお話が是非聞きたいと思っていました。
石飛先生の本を3冊読ませていただき、今回の講演を楽しみにしていました。先生の「平穏死」についての本に出会い、今まで医療や介護の場で疑問に思っていたことが解けてきたように思いました。今後の仕事、実生活の上で活かしていきたいと思っています。
二世代の参加により、心構えと覚悟の再確認をしました。「本音」をしっかりと聞きとる事で、本人の要望に答えられるように、心に余裕を持っていたいと思います。
自分の命、自分の人生、明日はわかりません。充実した日々を過ごしていくためにも考えていきたいと実感しました。有意義な時をありがとうございました。